



【学校教育目標】

心豊かにたくましく生きる子供の育成

くめざす児童像>

敬愛 互いの「よさ」を認め、思いやりの心をもつ子
剛健 すすんで心身をきたえ、明るく希望に燃える子
修学 自ら学び考え、全力を尽くす子

平成30年度の1学期が終了しました



平成30年度の1学期が本日終了します。明日の秋休みから2学期です。

保護者の皆様には、多大なご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

安居小学校では、子供たちの命と心身の健康を第一に、教職員一同、全身全霊をかけて教育に当たって参りました。何かと行き届かない点があったかと思いますが、皆様からのご意見を大切にしながら、これからも、教職員全員が、155名の子供たちの担任として尽力して参りたいと存じます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



学校保健委員会が行われました

10月4日に学校保健委員会が行われました。学校保健委員会は児童会の保健委員会が中心となって、全校で健康について考える集会です。今年度のテーマは、「ソーシャルスキルでなかよくなろう」です。

まず、保健委員会がソーシャルスキルは人となかよくなる力として、友達に声をかける時どう話すといいのかを「天使」と「悪魔」と「ひょっこりはん」の楽しい劇で説明してくれました。短い練習時間で仕上げたとは思えない完成度で、楽しく理解することができました。



次に、毎月指導に来てくだ

さる、県教育総合研究所の坪川先生と甚佐先生に、人と気持ちよく過ごすためのコツとして「あいづち」の大切さを教えていただいた後、「アドジャン」と「みんなってすごい！自分もすごい！」のゲームを行いました。縦割りのグループでゲームを進めながら、「『ああ〜』という声は、脳が成長したときの声」等を教えていただきました。振り返りを見ると、友達と話すときの上手な聞き方について気づいた児童が多かったようです。



ステップアップ式

いつもは秋休みの前に1学期終業式、秋休みの後に2学期の始業式を行っていましたが、短い秋休みを挟んで2回の式があるので、これらをまとめて行うことにしました。これを機会に子供たちが一段成長するようにと、ステップアップ式と命名して1・2学期の区切りの式を行いました。

見守り隊の緊急メール登録を受け付けます

市教委より、見守りをしてくださる方への緊急メール登録の推進依頼がありました。安居小では、安居まもるンジャーの中心になって活動していただいている方その他、見守り活動で希望される方にも登録をお勧めいたします。メールの内容は、市教委からの不審者情報や学校からの下校時刻変更、有害鳥獣出没のお知らせ等です。ご希望の方は、安居小学校 教頭 菅谷までお電話でお申し込みください。(37-1004)





ステップアップ式 式辞

2018.10.11

安居の郷に吹く風や山々の様子はすっかり秋色になって、過ごしやすいい日々になってきました。
全校155名のみなさんが、元気に今日のステップアップ式を迎えられたことをとてもうれしく思います。去年までは「1学期の終業式」を秋休みの前の日に、「2学期の始業式」を秋休みの次の日に行っていましたが、短い秋休みを挟んでの式が続くので、1つにまとめて学期の区切りの式を行うことにしました。この区切りの式を機会に、1学期の振り返りを行い、2学期に臨んでほしいと思い、「ステップアップ式」と名付けました。みなさんには、今日のステップアップ式を境に一段高く成長してほしいと願っています。

さて、9日に第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」の閉会式が行われ、国内最大のスポーツの祭典が幕を閉じました。福井県勢は49種目で優勝し、男女総合成績1位となり天皇杯を、女子総合成績でも1位となり皇后杯を獲得しました。

この国体の期間中いくつかのドラマが生まれましたが、多くの選手が同じように口にした言葉が「応援のすばらしさ」です。地元の声援が間違いなく選手たちの後押しとなりました。4年生から6年生までが観戦に行った自転車競技少年男子の市田龍生都（いちだりゅうと）選手がレース直後に発した、「応援て、スゲー！」という言葉はまさにそのすばらしさを表現していました。ラスト半周の脚の疲れが絶頂に達したとき、会場の「がんばれー」の声が市田選手の力を絞り出させ、最後まで全力で走りきり、見事優勝することができました。

選手のみなさんが最後まであきらめずに各競技に挑んでつかんだ天皇杯や皇后杯はすごいです。それ以上に、選手たちを応援した福井県民からはもっとすばらしいものを見せてもらえました。きっと、ここにいるみなさんも、人は一人ではない、応援したり応援されたりして力を発揮するすばらしさを、もちあわせているのだと思います。みんなでこれからがんばっていきましょうね。

スポーツは自分がするだけでなく、しているのを見て参加することもでき、感動を巻き起こすことのできるすばらしいものです。

この感動を引き継いで、13日から15日までは、全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が行われます。国体の閉会式で炬火を受け取った車いすの高志中学校2年の近江優菜選手は、日之出小学校で6年間みんなと一緒に生活しました。福井国体が提唱した「融合」は、障害の有無を超えて、スポーツを通じた人のつながりを表しています。国体期間中に、車いすバスケットボールや車いすテニスも行われました。元気大会でも国体のように大声援を送り、盛り上げていきましょう。



さて、今日はみなさんが、今までの学習・生活を振り返るために通知票「あゆみ」をいただきます。私は全部に目を通しました。どの「あゆみ」も、先生たちが、みなさんのがんばりをよく見てつけてくださいました。また、さらに良くなるようにと努力目標が書かれています。

「あゆみ」というのは、みなさんが山に登るように、今までみなさんが先生や友達と共に一歩ずつ山を苦勞して登った足跡なのです。一人で勉強しても苦勞や満足感は話せませんね。だから学校でみんなで力を合わせ、励まし合いながら学ぶ意味があるのです。

「あゆみ」の成績は今の自分の力です。自分の「あゆみ」をじっくりと見て、先生からのお話をしっかり聞き、家に持って帰ったら、お父さんやお母さんとしっかり話し合ひましょう。この「あゆみ」をみなさんの2学期へのステップアップに、是非、生かしてほしいと思います

1学期は4月から101日ありました。1学期のスタートの時、まず、自分の目標を立て、全力で頑張りたいというお話をしました。そのときに、学校で生活する時の「あいいうえお」（挨拶、命、運動、笑顔、思いやり）のお願いをしましたね。挨拶、命、運動については、1学期の朝礼で詳しく話しました。毎日、横断歩道の所で、明るく挨拶できています。みなさんが、旗持ちの方や駐在所のおまわりさんに「おはようございます。」と言っている姿はとてもいいものです。最近は、止まってくださった自動車に、私と一緒に頭を下げてお礼を言うってくれる人も出てきました。とてもすばらしいと思います。2学期も、続けていきましょう。笑顔と思いやりについては、2学期にお話したいと思います。

さあ、明日の秋休みから2学期です。6年生は小学校最後の学期になり、学校へ来る日は、残り93日です。この中で安居小学校をしっかりとまとめ、中学校に向けて準備を進めてほしいと思います。1年生から5年生のみなさんも平成最後の2学期となります。今の学年の学習をしっかりと行い、3月には堂々と次の学年へのステップを1段上がってほしいと思います。

それでは、秋休みにしっかりとステップアップができるように、健康と安全に気をつけて、2学期の心の準備をして過ごしてください。

